

## 座談会「新しい文化館と収蔵品を語る」の結果について

**【概要】** 滋賀県立安土城考古博物館で開催する琵琶湖文化館地域連携企画展の会場にて、新しい琵琶湖文化館に関するメッセージを募集し、これをもとに座談会を行いました。座談会では、新しい文化館への期待や収蔵品の魅力について多くの意見が交換され、今後の文化財の保存や展示、子どもたちへのアプローチなどの提案が出されました。特に県内における様々な〈つながり〉の重要性が再認識され、地域の文化財のセーフティーネットとして機能する新しい博物館像が示されました。

日時 令和5年3月19日(日) 13:30~15:00  
 会場 滋賀県立安土城考古博物館 セミナールーム  
 登壇者 和澄浩介(琵琶湖文化館主任学芸員)  
 田澤梓(琵琶湖文化館学芸員)  
 福西貴彦(滋賀県文化財保護課主査)  
 岩崎里水(安土城考古博物館学芸員)  
 参加人数 30名



### 【スケジュール】

<p><b>趣旨説明</b> (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖文化館の豊富な収蔵品について【配布資料参照】</li> <li>・地域連携企画展の会場で募集している、2つのメッセージについて</li> <li>・今回の座談会は、収蔵品の魅力を伝えること、新しい文化館への期待を高めることを趣旨とする</li> </ul>
<p><b>自己紹介</b> (15分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名前と所属のほか、現在の仕事や、自身の専門とその専門を選んだ理由について、登壇者が自己紹介</li> </ul>
<p><b>座談会</b> (50分)</p>	<p>①「見たい作品」投票結果関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登壇者の「見たい or 見せたい作品・文化財」</li> <li>・「見たい作品・文化財」の投票結果とメッセージについて</li> <li>・データから見る琵琶湖文化館の人気作品</li> </ul> <p>②「展覧会へのご意見」関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージについて</li> </ul> <p>③新しい文化館全体について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージについて</li> <li>・登壇者が「新しい文化館に期待すること or こうしたいと思うこと」</li> </ul>
<p><b>まとめ</b> (3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵品の魅力と、新しい文化館への期待をお話しできた</li> <li>・新しい文化館と地域、新しい文化館と県内博物館など、様々な〈つながり〉が意識された</li> </ul>

## 【座談会の内容】

### ①「見たい作品」投票結果関連

#### 登壇者の「見たい or 見せたい作品・文化財」

○見せたい文化財（和澄）：東近江市・日吉神社所蔵の鬼面（寄託品、2面のうち赤鬼面は市指定）。祭礼にともない一時返却され、神として地域に迎えられる品。こうした文化財は、モノとしての価値だけではなく、地域とのつながりを見せる展示がしたい。

→ 琵琶湖文化館では他にも社寺等へ一時返却を行う。新しい文化館の開館後も、一時返却を通じて地元とのつながりを保つことが必要。

○見たい文化財（岩崎）：湖上之春 松田喜代次作（館蔵品、展覧会出品作品）。春の訪れの喜びが感じられ、県の無形文化財「揉み紙」の技術にも魅力がある。

○見たい文化財①（福西）：洋犬図 波多野等有筆（館蔵品）。近世絵画としても魅力があるが、考古学的に考えると食用としての歴史が長かった犬が、こうして描かれていることが興味深い。

○見たい文化財②（福西）：块状耳飾 安土遺跡出土（館蔵品）。縄文時代の耳飾りで、硬い石なので作るのに時間がかかる。

○見せたい文化財（田澤）：長浜市・神照寺所蔵の華籠（寄託品、国宝、文化館には2面寄託）。16面あり、制作時代が平安と南北朝に分けられる。文様と技法の違いを見比べられる展示がしたい。

#### 「見たい作品・文化財」の投票結果とメッセージについて【配布資料参照】

○琵琶湖文化館では仏教美術・神道美術を展示してきた。新しい文化館の開館後も、スタンダードな展覧会として想定される。

○叡山図 曾我蕭白筆（館蔵品）も、仏教が近世絵画に与えた影響を見ることができる。

#### データから見る琵琶湖文化館の人気作品【配布資料参照】

○叡山図は、貸出ランキングも写真図版提供ランキングどちらも上位。

○貸出ランキング1位の近江輿地志略とは？

→ 近江の地誌。県内の博物館どこでも借りたい「便利なもの」なので、ランキング上位。

○想像したより仏教美術にかたよっておらず、分野が多岐にわたっている。

→ 貸出は近世絵画が多い。全国的に見ると、仏教美術専門の学芸員は少なく、近世絵画専門の学芸員は多い。こうした日本全国の博物館施設の実情があらわれている。



## ②「展覧会へのご意見」関連

### メッセージについて【配布資料参照】

- 展覧会テーマについては、仏教美術関連、滋賀県ならではの展示への要望が多い。
- 「大トンボの展示」の要望があるが、地域連携企画展来場者に子どもの頃に見た思い出を語る方もおり、琵琶湖文化館の象徴的な存在であろう。
  - 1月に撤去された大トンボだが、新しい文化館の開館後も何かしらの形でお見せしたい。
  - 新発見を初公表するが、調査したところ大トンボが金色だった痕跡があった。このように、開館当時で分からないことも多いが、明らかにさせながら新しい文化館につなげたい。
- 展示の工夫をお客さんから意見出してもらいたい。
- 今回の展示も含めイラスト付きの解説パネルを作成している。分かりやすい展示への配慮がある。
  - 分かりやすい展示を新しい文化館でも大切にしたい。例えば大人向けの内容の展覧会であっても、子どもや初心者へのアプローチを考えていきたい。

## ③新しい文化館全体について

### メッセージについて

- 「きちんと保存していく方に沢山の予算を割いて欲しい」というメッセージについて、文化財の保存への配慮などを、お客さんからご意見いただくのがありがたい。
  - 新しい文化館は、収蔵庫の面積が展示室の倍もある非常にまれな館であり、地域の文化財のセーフティーネットの役割を果たすことができる。〔近江の文化財を中心とするミュージアム〕〔地域の文化財のサポートセンター〕〔文化観光の拠点ビジターセンター〕の3つの役割がうまく回ってこそ、しっかりとした活動ができる。これにより、今後の文化財をしっかり公開し守っていく博物館施設のモデルケースになる。
- 「展示に至るまでの、保管・修復・運搬など文化財に携わる仕事を知ってもらいたい」というメッセージについて、展示だけでない博物館の役割を見てもらうことは意義がある。

### 登壇者が「新しい文化館に期待すること or こうしたいと思うこと」

- こうしたいと思うこと（和澄）：滋賀県に今までなかったような博物館になると思う。展覧会の裏でチャレンジなことを学芸員がしているということに、思いを馳せていただけたら。
- 期待すること（岩崎）：県内博物館の立場として、地域文化財サポートセンターのため、博物館どうしが密な関係性をつくり、新しい文化館が県の中核的な存在になることを期待する。また、浜大津で子どもたちが遊んでいる姿を見た。子どもが親しみを持てる館になってほしい。
- 期待すること（福西）：滋賀県は観光から見ても拠点が無いので、新しい文化館は拠点施設として期待できる。しかしながら学芸員たちがこんなに仕事ができるのか、心配である。
  - この機能を全部一つの博物館でやろうと思ったら難しいが、自分たちが全部やるのではなく、色々な繋がりを持つハブとして機能していきたい。

滋賀県は「（仮称）新・琵琶湖文化館基本計画」を策定し、令和9年度（2027年度）に新しい琵琶湖文化館の開館を目指しています。開催中の地域連携企画展の会場では、基本計画を紹介するほか、以下の2つのメッセージを募集しています。

投票：「あなたが思う“新しい琵琶湖文化館でも見たい作品・文化財”は何ですか？」

募集：「新しい琵琶湖文化館での“展覧会へのご意見”をお知らせください！」

この座談会では、寄せられたメッセージを提示しながら、収蔵品の魅力や新しい琵琶湖文化館への期待を語り合います。

登壇者

- ・和澄浩介（琵琶湖文化館主任学芸員）
- ・田澤梓（琵琶湖文化館学芸員）
- ・福西貴彦（滋賀県文化財保護課主査）
- ・岩崎里水（安土城考古博物館学芸員）

本日の話題

- ・「見たい作品」投票結果関連
- ・「展覧会へのご意見」関連
- ・新しい文化館全体について

●琵琶湖文化館の収蔵品

琵琶湖文化館は、国宝2件(17点)、重要文化財52件(90点)を含む、豊富で質の高い収蔵品を多く有する全国有数の博物館です。収蔵点数の約7割は社寺等からの寄託品であり、県内の美術工芸分野の国宝・重要文化財の約10%、県指定文化財の約25%の寄託を受けています。また、収蔵品の内容は、仏教美術等を中心に歴史資料、民俗資料等多岐にわたっています。

件数（ ）内は点数 令和3年(2021年)2月現在

	館蔵品	寄託品	合計	件数（ ）内は点数				
				うち 国宝	うち 重文	うち 県指定	うち 重要美	うち 市町指 定
絵画	230 (286)	350 (479)	<b>580</b> <b>(765)</b>	1 (15)	14 (20)	20 (21)		13 (28)
彫刻	12 (24)	84 (110)	<b>96</b> <b>(134)</b>		25 (39)	6 (7)		8 (11)
工芸	187 (339)	172 (1,663)	<b>359</b> <b>(2,002)</b>	1 (2)	9 (17)	16 (1,146)	1 (1)	18 (23)
書跡典籍	429 (667)	193 (5,845)	<b>622</b> <b>(6,512)</b>		4 (14)	19 (2,198)	2 (2)	2 (9)
歴史資料	24 (1,071)	5 (23)	<b>29</b> <b>(1,094)</b>			2 (104)		
民俗資料	3 (3)	1 (2)	<b>4</b> <b>(5)</b>					
考古資料	104 (683)	19 (104)	<b>123</b> <b>(787)</b>					
複製資料	9 (22)		<b>9</b> <b>(22)</b>					
民族資料	15 (20)		<b>15</b> <b>(20)</b>					
合計	1,013 (3,115)	824 (8,226)	<b>1,837</b> <b>(11,341)</b>	2 (17)	52 (90)	63 (3,476)	3 (3)	41 (71)



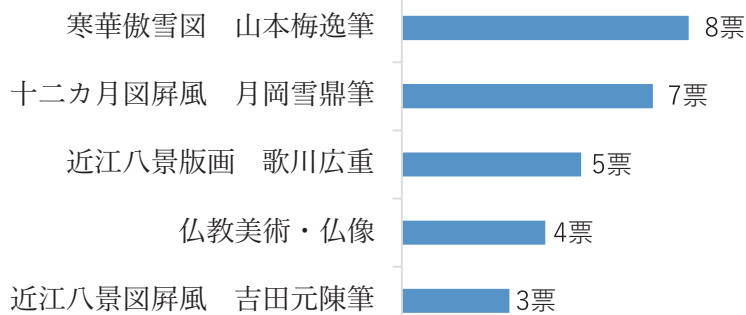
狗子図 部分 円山応挙筆  
(琵琶湖文化館)

「新しい琵琶湖文化館にメッセージを届けよう！」の結果について（2月4日～3月14日受付分の集計）

●投票結果「あなたが思う“新しい琵琶湖文化館でも見たい作品・文化財”は何ですか？」

- ・投票総数：64票
- ・展覧会出品作品への多くの投票をいただき、展示をよくご覧いただいていることが分かりました。
- ・出品作品以外では、「仏教美術（仏像）が見たい」という声をいただきました。琵琶湖文化館がこれまでおこなってきた、仏教美術をテーマとする展覧会への評価の高さが感じられます。

「見たい作品・文化財」ランキング 0 2 4 6 8 10



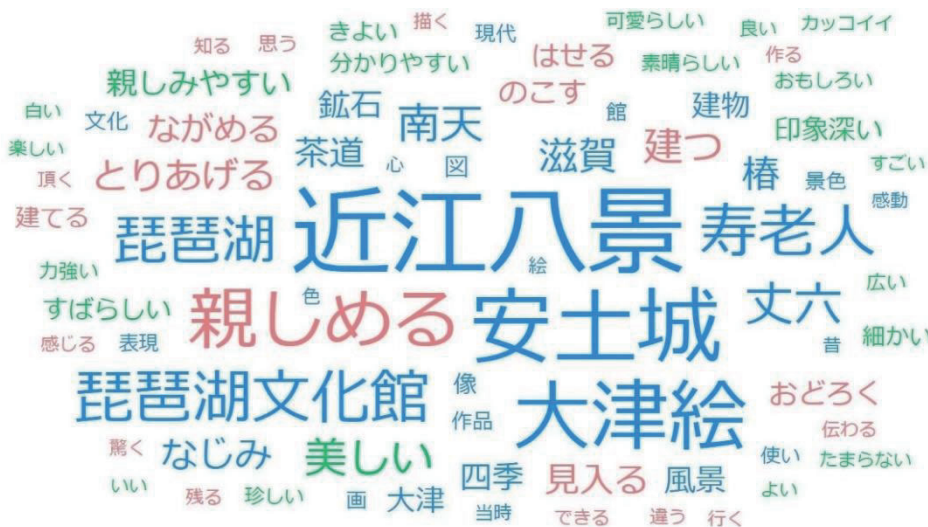
そのほかの「見たい作品・文化財」

展覧会出品作品

- ・月下梅図
- ・蛭図
- ・湖東焼 色絵花卉図鉢
- ・色絵雲錦図茶碗
- ・琵琶湖図
- ・近江八景図屏風 池田遙邨筆
- ・耕作の図
- ・大津絵
- ・安土城関係

など ※いずれも2票

選んだ理由について（文書解析）



・スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

・右上の画像とともに、ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

主な選んだ理由

【寒華傲雪図】

- ・椿がとても鮮やかでした。花びら一枚一枚がとてもうるうるしているように見え、実際の椿もこんな風だったのかなと想像するのも楽しかったです。（ペンネーム：桜）
- ・冬の美しさ凛とした空気・静けさが伝わってくる。（ペンネーム：インド）

【十二カ月図屏風】

- ・絵を見ながら当時の生活やその人の思っている事まで想像する事ができた。とても美しく、繊細なタッチで絵を見ているだけで楽しかった。（ペンネーム：masa）

【近江八景版画】

- ・滋賀といえばやはり琵琶湖です。美しい琵琶湖の周りの形式が描かれている風景が色々見てみたいです。（ペンネーム：野洲のペンチ）

【近江八景図屏風】

- ・それぞれの四季が分かりやすく、その時代の時が目に映る様です。（ペンネーム：柳生）

【仏教美術】

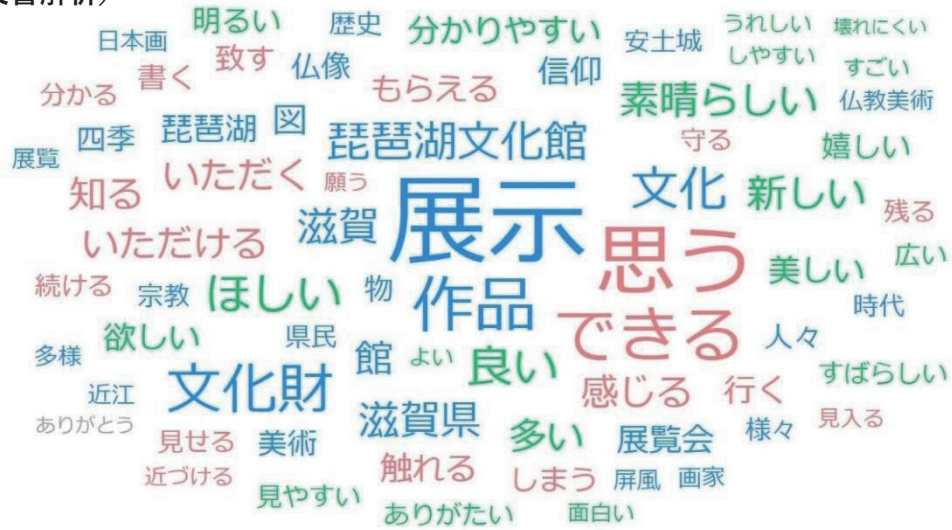
- ・滋賀の文化や芸術に宗教（比叡山や観音信仰）が大きく関わっていると思うから。（ペンネーム：まこっちゃん）



## ●意見募集結果「新しい琵琶湖文化館での“展覧会へのご意見”をお知らせください！」

- ・意見総数：57件
- ・ご意見の内容は、展覧会のテーマに関すること（22件）、展示の工夫など（9件）のほか、新しい文化館へのメッセージ（13件）や、今回の展示に関する感想（13件）もいただきました。
- ・展覧会テーマについては、仏教美術関連（7件）、滋賀県ならではの展示（6件）への要望が多くありました。

### ご意見について（文書解析）



### 主なご意見

#### 【展覧会テーマ】

- ・他県にはない、これぞ近江（滋賀県）という展覧会にしてほしい。（ペンネーム：ふみちゃん）

#### 【展示の工夫など】

- ・触れたり、触れる物や体験ができる内容があったら良いと思いました。（ペンネーム：楽ちゃん）
- ・琵琶湖文化館は、子どもの頃から親しみのあった施設です。多くの文化財や、宝物を県民に（子どもたちにも）理解しやすい展示を希望いたします。（ペンネーム：Hisako）

#### 【新しい文化館へのメッセージ】

- ・展示も大事ですが、様々な文化財を（今は文化財と思われていない物でも）きちんと保存していく方に沢山の予算を割いて欲しいです。展示は氷山の一角です。（ペンネーム：ぶい子）

①



②



③



投票「見たい作品・文化財」上位作品

- ①寒華傲雪図 山本梅逸筆 江戸時代
- ②十二カ月図屏風 右隻（正月から六月）  
月岡雪鼎筆 江戸時代
- ③近江八景版画 歌川広重（複製）  
堅田落雁 現代（昭和）

※すべて「琵琶湖文化館收藏品にみる四季」出品作品

## ●データからみる琵琶湖文化館の人気作品

琵琶湖文化館では、他館の展覧会への収蔵品の貸出と、企業や個人への写真図版提供を行っています。過去5年間（平成30年度～令和4年度）の実績データから、琵琶湖文化館の人気作品が見えてきます。

### 収蔵品貸出ランキング

順位	指定・名称	所蔵	貸出回数	備考
1	県指定 近江輿地志略 94冊のうち	琵琶湖文化館	5	県内の館に様々な巻を貸出
2	崇福寺跡出土 複弁蓮華文軒丸瓦	琵琶湖文化館	4	県内や近隣館に貸出
2	県指定 真盛上人像	西教寺	4	
2	重文 楼閣山水図 曾我蕭白筆	近江神宮	4	4回とも遠方への貸出
5	県指定 木造大黒天立像	聖衆来迎寺	3	
5	淡海温故録	琵琶湖文化館	3	
5	県指定 叡山図 曾我蕭白筆	琵琶湖文化館	3	3回とも遠方への貸出
5	狗子図 円山応挙筆	琵琶湖文化館	3	
5	六道絵（文政本） 15幅のうち	聖衆来迎寺	3	
5	県指定 恵心僧都像	聖衆来迎寺	3	
5	県指定 芦浦観音寺文書のうち	観音寺	3	



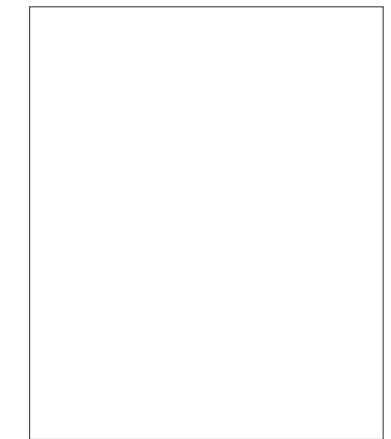
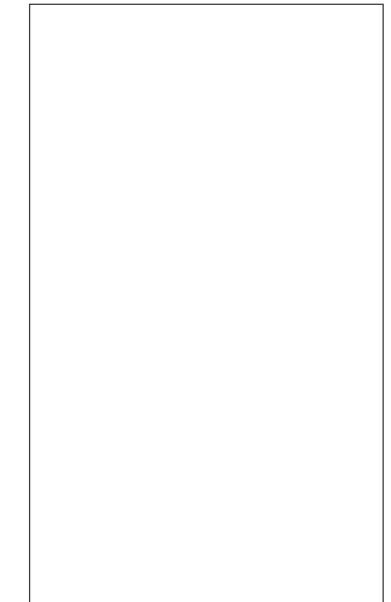
近江輿地志略



崇福寺跡出土 丸瓦・平瓦

### 写真図版提供ランキング

順位	指定・名称	所蔵	提供回数	備考
1	山法師強訴図	琵琶湖文化館	36	書籍、テレビのほか、教科書や試験に提供
2	琵琶湖図 円山応挙筆	琵琶湖文化館	16	ユネスコ「世界の記憶」登録の頃が多い
3	十二カ月図屏風 月岡雪鼎筆	琵琶湖文化館	11	京都市の区役所での展示に5回提供
4	県指定 大津事件関係資料	琵琶湖文化館	8	
5	県指定 近江輿地志略 94冊のうち	琵琶湖文化館	6	
6	淡海温故録	琵琶湖文化館	5	
6	県指定 恵心僧都源信像	聖衆来迎寺	5	
8	県指定 叡山図 曾我蕭白筆	琵琶湖文化館	4	
8	鳥禽図 伊藤若冲筆	琵琶湖文化館	4	
8	国宝 金銀鍍透彫華籠	神照寺	4	



大津事件関係資料



山法師強訴図



叡山図